


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、緩やかに持ち直している」

項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直している	




（注）4年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスが通信機器向けなどで好調となっているほか、生産用機械が海外の設備投資需要を背景に高水準となっているなど、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、持ち直しのテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直している	
生産活動	持ち直している	持ち直している	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	持ち直しつつある	

設備投資	3年度は増加見込み	4年度は増加見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	4年度は増益見込み	
企業の景況感	「下降」超に転じている	「下降」超幅が縮小	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、原材料価格の上昇等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

スーパー販売は飲食料品が堅調となっており、前年並みとなっている。百貨店販売は身の回り品等が好調となっており、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は米飯・麺類や冷凍食品などが好調となっており、前年を上回っている。ドラッグストア販売は新規出店効果のほか、医薬品や飲食料品が堅調となっており、前年を上回っている。ホームセンター販売はDIY関連や収納用品に需要の落ち着きが見られ、前年を下回っている。家電販売はテレビを中心に前年を下回っている。乗用車販売は納車に遅れが見られ、前年を下回っている。旅行は国内旅行が持ち直しつつある。このように、個人消費は、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 感染症の落ち着きに伴い鮮魚や精肉などで徐々に内食需要の低下が見られる一方、調理に手間のかからない総菜の需要は高い状態で推移している。(スーパー、大企業)
- 特選ブランドの身の回り品や宝飾・時計が特に好調。このほか、外出機会の増加に伴い、手土産のお菓子、外出用の洋服など、一般的に好調となった。(百貨店)
- 人流が増え、平日の夕夜間や土日の来店客数が戻ってきており、客数の増に伴っておにぎりやサンドイッチなどが伸びている。また、売り場や品揃えの強化により、冷凍食品が好調。(コンビニエンスストア、大企業)
- 花粉の飛散が多かったことにより、花粉症対策商品が好調だったほか、簡便志向から冷凍食品などの飲食料品が堅調となっている。(ドラッグストア、大企業)
- テレビは昨年のオリンピック需要などの反動で一服感があるほか、洗濯機は上海のロックダウンの影響などにより品薄・品切れとなる商品が出ている。(家電量販店、大企業)
- 引き続き半導体不足などの影響で納車が遅れているが、受注量は変わっていない。(自動車販売、中小企業)
- ゴールデンウィーク頃から来店客、問合せ件数が増加しており、週末の来店予約は満席の状態。キャンセルもほぼない。(旅行代理店、中堅企業)
- 県民割の再開や新幹線の復旧に加え、行動制限のないゴールデンウィークだったこともあり、予約が殺到した時期や満室が続いた時期もあった。(温泉街所在の観光協会)

■ 生産活動 「持ち直している」

電子部品・デバイスは自動車向けで一部に弱い動きが見られるものの、通信機器向けなどで好調となっている。輸送機械はサプライチェーンの問題により減産の動きが続いている。生産用機械は海外の半導体メーカーにおける設備投資需要を背景に高水準となっている。このように、生産活動は、持ち直している。

- 自動車メーカー、サプライヤーの生産調整により、生産量が減少している。(電子部品・デバイス、中堅企業)
- 5G拡大によるデータセンター向けのほか、スマホ向け、ゲーム機向けも受注が堅調となっている。(電子部品・デバイス、中小企業)
- 完成車メーカーの生産調整が続いている影響で受注が減少しているため、操業度が落ちている。(輸送機械、中堅企業)
- 海外半導体メーカーが大規模な設備投資を実施しているため、好調となっている。(生産用機械、大企業)

■ 雇用情勢 「持ち直しつつある」

有効求人倍率は横ばいで推移しているものの、新規求人数は製造業を中心に増加している。このように、雇用情勢は、持ち直しつつある。

- 製造業においては、依然として幅広い業種で新規求人が出ており堅調な状態。食料品製造業においては、お土産需要が戻ってきていることで、求人の動きが出ている。(公的機関)
- 感染状況の落ち着きから在職者の求職活動に活発な動きが見られる。(公的機関)

- **設備投資** 「4年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
 - 製造業では、金属等で減少見込みとなっているものの、情報通信機械、輸送用機械等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。
 - 非製造業では、小売等で増加見込みとなっているものの、電気・ガス・水道、金融・保険等で減少見込みとなっていることから、全体では減少見込みとなっている。

- 製造ライン増設等の能力増強投資により増加する見込みとなっている。(情報通信機械、大企業)
- 前年度実施の大型投資の反動により減少する見込みとなっている。(電気・ガス・水道、大企業)

- **企業収益** 「4年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
 - 製造業では、食料品等で減益見込みとなっているものの、輸送用機械、非鉄金属等で増益見込みとなっていることから、全体では増益見込みとなっている。
 - 非製造業では、情報通信等で減益見込みとなっているものの、宿泊・飲食、運輸・郵便で赤字縮小見込みとなっていることから、全体では増益見込みとなっている。
- **企業の景況感** 「『下降』超幅が縮小」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
 - 現状(4年4-6月期)は「下降」超幅が縮小している。先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。
- **住宅建設** 「前年を上回っている」
 - 新設住宅着工戸数をみると、持家が前年を下回っているものの、貸家、分譲が前年を上回っていることから、前年を上回っている。
- **公共事業** 「前年度を下回っている」
 - 前払金保証請負金額は、県を中心として前年度を下回っている。
- **消費者物価** 「前年を上回っている」
- **金融** 「貸出金残高は、前年を上回っている」
- **企業倒産** 「件数、負債総額とも前年を上回っている」

3. 各県の総括判断

	前回(4年4月判断)	今回(4年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
青森県	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある		個人消費は一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつあり、生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
岩手県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	持ち直しつつある		個人消費は緩やかに持ち直しており、生産活動は一部に供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している。雇用情勢は持ち直しつつある。
宮城県	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直している		個人消費は緩やかに持ち直しており、生産活動は持ち直している。雇用情勢は、持ち直しつつある。
秋田県	新型コロナウイルス感染症の影響が依然として残るものの、緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある		個人消費は緩やかに持ち直しつつあり、生産活動は持ち直している。雇用情勢は緩やかに持ち直しつつある。
山形県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している		個人消費は緩やかに持ち直しており、生産活動は持ち直している。雇用情勢は緩やかに持ち直している。
福島県	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、一進一退の状況にある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある		個人消費は緩やかに持ち直しつつあり、生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。